



『であい、ふれあい、そして未来へ』～自分を発揮し 求め続ける白川っ子の育成～

12月に入り、冬休みまで後12日（登校回数8回）となりました。寒い日が続いています
冬休み前特集号①!!



<今年もあと3週間、2学期もあと12日>

昨年度末及び年度初めの臨時休校に伴い、8月24日（月）から始まった長い2学期も、それぞれの学年で制限のある行事を乗り越え多くの感動（記憶）を残し、あと約2週間弱で終わろうとしています。そして、締めくくりの時期になりました。学期を締めくくるといことは、その学期全体を振り返ることです。8月下旬の始業式から約4ヶ月がたちました。子どもたちも学校生活や行事を通して、ひとまわりもふたまわりも大きく成長したのではないのでしょうか。学期末保護者懇談会（12/22）でも担任よりお話しますが、学習面や生活面で頑張ったところを褒めてあげてください。また、その反面もう少し頑張っしてほしいところもお話いただき、子どもたちの健やかな育ちにつなげてください。

□Winter vacation に気をつけたいこと！！□

□事故に注意してください【命を大切に！！】

自分の命は自分で守る。交通事故・危険な遊び、自分の心構え一つで防げるものですから十分注意してください。特に、年々、朝夕問わず交通量が増えています。交通事故は歩道を歩くときや道路を横切るときは横断歩道等での確認（左右の確認）この心がけだけで90%の事故は防げるそうです。また、自転車に乗るときは必ずヘルメットをかぶりましょう。



□毎日きまった時間は机にむかう姿勢【継続は力なり！！】

冬休みはクリスマスやお正月といった楽しいイベントがありますが、2学期頑張っって覚えたこと、身につけたことをしっかり体に刻み込むために、毎日少しずつの復習を続けていきましょう。そのために、冬休みの課題、そして、自分で課題を設定して取り組んでみましょう。毎日20～30分続けるならば決して多くはないはずです。



（ex.30分×15日＝450分＝7時間30分になります）そのような学習習慣を休み中も継続してほしいと思います。

□スマホを持っている人はご用心【情報機器の使い方！！】

子どもが使用するスマートフォンなどの携帯電話には、フィルタリングが必要です。三重県青少年健全育成条例が改正され、平成27年7月1日に施行されました。長時間の使用は、基本的な生活習慣の乱れにつながることもあります。



特に、冬休みは、長時間のゲームなどで夜眠れない・朝起きられない・昼間は眠い・夜は目がさえるといった不規則な生活にならないように気をつけましょう。また、インターネットでのトラブル（オンラインゲーム等）にも注意してください。

□規則正しい生活【生活習慣を崩さないように！！】

子どもは、朝起きてしっかり食事をして一日活動し、そして十分に睡眠をとることで健全な心身が育まれます。長期の休みは時間の使い方がルーズになります。常に心のチャイムを鳴らして自分で生活を作り出しましょう。寒い時期ですから、感染症・風邪・インフルエンザ等にも注意してください。



<学校閉校日・新型コロナウイルス感染症対応のお知らせとご理解〔12/28(月)～1/6(水)〕>

1学期に配布しました「保護者・地域のみなさまへ～三重県の総勤務時間縮減取組について～(三重県教育委員会・亀山市教育委員会発行)」学校閉校日の取組みにつきまして、三重県では、施策「教職員が働きやすい環境づくり」を推進し、教職員が子どもたちと向き合う時間を確保し、心身にわたる健康を維持することにより、教育活動に意欲的に取り組めるようすべての公立学校で統一した取組を進めています。このことを受け、亀山市におきましても各学校で目標値を設定し、下記の取組を進めています。教職員が健康で、意欲的に教育活動に取り組めるよう、保護者・地域の皆さまのご理解ご協力をお願いします。

そこで、本校としましても12月28日(月)から1月6日(水)は、学校閉校日として職員は不在となります。校務も休止となりますので、ご理解ご協力をお願いします。

また、明星第40号でもお知らせしましたが、「新型コロナウイルス感染症」にも注意をする必要があります。冬季休業中のみならず日常生活においても留意していただき、咳エチケットや手洗い・うがい等の生活様式・健康管理等についての注意喚起をよろしくお願い致します。もし、児童・ご家族の方が濃厚接触者またはPCR検査を受けられるなどの対応において、医師や保健所等から学校に連絡をするよう指示があった場合につきましては、保護者から学校(82-3007)まで連絡を頂きますようお願い致します。緊急の場合は亀山市教育委員会【84-5075】へ連絡をお願いします。

<1・2年生の子どもたちが手紙の書き方を学習しました>←12月7日(月)

1・2年生の子どもたちが、白川郵便局の局長さんから、「手紙がどのように届くのか」と「ハガキの書き方」を教えていただきました。近年、大部分の伝達手段がデジタル化(Mail, Line, Instagram, Twitter, Facebook SNS等)されている中、今日は手書きでハガキを書くことを通して、文字を書くことの難しさや美しさ、文字自体が伝える気持ちや温かみを子どもたちは感じることができたのではないのでしょうか。また、クイズ形式で郵便について学習もしました。子どもたちは、積極的に発言して、楽しく学んでいました。文字を鉛筆等で書くことは、書くということ以外の効果があると言われていいます。

アイデアに詰まったら手書きをしてみよう！！

パソコンやスマホ等の電子機器は便利なツールですが、カタカタと文字を入力(キーボード入力)するだけでは脳は刺激されないそうです。手書きは脳を刺激する効果があるため、アイデアを書き記すのに向いているそうです。アイデアに詰まったら手書きをしてみるのもひとつの方法ではないでしょうか。

手書きの長所(メリット) 5



I 記憶に残る

手書きの良さは記憶に残りやすいことです。指や手を動かすことで脳が活性化され、記憶が強化されます。

II 脳への刺激

パソコンで入力(押す)すると忘れることが多くなりますが、手書きは脳を刺激するので記憶に焼き付きます。勉強をするなら、記憶に残りやすい手書きをした方が良いでしょう。

III 集中力アップ

キーボード入力だとタイプミスしてもすぐ消せますが、手書きは書き間違えると消しゴムを使う面倒くささがあるので自然と集中力がアップします。手書きは面倒ですが、その面倒くささが集中力を高めます。

IV 創造性が増す

手書きで自由に自分の考えを書き記すことで創造性が増し、アイデアの創出につながります。パソコンに向かってもいいアイデアが浮かばないという時は、ペンと紙を持つことも一つの方法です。

V 感情を表現しやすい/感情が伝わりやすい

手書きはその人の個性が出るので感情を表現しやすいです。たとえば、年賀状に一言手書きのメッセージを添えるだけで随分印象が変わります。手書きは親しみやすさ、温かみが全然違います。

○手書きとパソコン入力は同じことを書いていても伝わり方や脳に与える影響が違います。デジタルが便利な時代にわざわざ手書きをする必要はないと思わずに、手書きの良さも見直して、アナログとデジタルを上手に使い分けることが大切です。

